

発行所
伊那市荒井
3500-1-401
上伊那教育会館内
長野県教職員組合
上伊那支部
編集発行人
春日 俊宏

上伊那支部情報紙

平成 29 年
4 月 14 日
第 2 号
全職員配付

支部ホームページ <http://www.ntu.kamiina.jp>
組合員用 ユーザー名 : kamiina パスワード : ntu2453

くみ 組^みってる 上伊那 860 名で始動

～ 第 1 回評議員会・職場長合同会報告 ～



4 月 7 日（金）、第 1 回評議員会と職場長・評議員合同会が行われました。今年度は組合員数 860 名でのスタートとなりました。平成 29 年度県教組上伊那支部の活動が本格的に始まりました。教職員のため、子どもたちのため、誠心誠意がんばります。ご支援の程、よろしくお願いいたします。

第 1 回評議員会報告

資格確認で会の成立が宣言され、評議員会がスタートしました。評議員の先生方の協力もあり、議事や協議などがスムーズに進行しました。

議事 1 正副議長選出に関する件

今年度の評議員会議長を決定いたしました。会を進行する大切な役割を務めてくださる方々は次の通りです。



議長：藤井 篤徳（東中）【写真左】 副議長：井上 雅仁（箕輪中）【写真右】

第1回評議員会 加室執行委員長挨拶

上伊那支部に脈々と受け継がれてきた

伝統と組合員の声を大切にされた組合活動



ただいまは、支部書記局構成をご承認いただき、ありがとうございました。

第1回評議員会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。本日は、県本部から上伊那出身の宮田弘則（みやた ひろのり）県教組副執行委員長にお越しいただきました。支部といたしまして、1年間、県本部とともにがんばっていきたく思います。よろしく願いいたします。

さて、私たち教職員をとりまく状況は、依然、厳しいものがあります。また、情勢も刻々と変化し、私たちの現場にも、その影響が大きく及ぼされていることは、皆さんも感じられているところではないかと思えます。

中央では、国家統制の動きが懸念される「道徳の教科化」が現実のものとなり、来年度（平成30年度（2018年度））から小学校、そして再来年度（平成31年度）には中学校でも、本格的に教科となります。昨今では、教科書の検定に際して、『伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度』の扱いが不適切との検定意見に対し、各教科書会社が検定に通らんとするために、教材文中の「パン屋」の記述を「和菓子屋」に、「アスレチック」の写真を、「和楽器屋」に変更したとの報道がありました。まさに、現在、メディア等で多用されている、「村度」があったのではないかと指摘です。それらの修正については、その賛否様々な見方ができますが、少なくとも、私たちが創る授業、子どもの心身の健やかな成長や自立を目指して行っている1時間の授業においても、そこに、政治的な思惑を入れようする外からの影響が及ぼされ始めていることを感じます。

これは、先月21日に閣議決定された「組織犯罪処罰法改正案」いわゆる「共謀罪」についても同様なことが言えます。私たちの教育活動、さらには、生活・生命を守るための諸活動の根幹部分に対して、じわじわと影響が及んでくるのではないかと心配もあり、さらに動向を注視していく必要があります。

県においては、「勤務時間の割り振り」が、本年度より試行され、7月から完全実施となります。教師の超勤、多忙化の歯止めをかけるための、具体的な一つの施策として、今後のさらなる発展に期待しつつ、その有効性や運営上の難しさについて、考えなくてはなりません。

また、全国学力・学習状況調査の結果公表など、子供の教育にそぐわず、現場にも混乱をもたらすような施策についても、今後も問題点を明らかにして、現場の声が反映されたものとなるよう取り組んでいく必要があります。

その他、平和で、安全・健康な生活を守り、子どもたちの明るい未来をつくるという立場から社会を見つめた時、施行から1年経過した安全保障関連法の今後の展開や、高浜原発運転再開容認をはじめとした、フクシマの復興を尻目に行われていく原発

再稼働の問題など課題は山積しています。

そのような困難な状況の中でも、私たちの生活や、子どもたちの未来のために、声を上げていくことができるのが組合だと思います。

私たち一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、人が集い、声を大きくしていくことで、今までにも多くの成果を上げてきました。そんな活動を弱体化させることなく、さらに前進していくためには、何といても組織の拡大と強化が不可欠です。上伊那支部としても本年度も引き続き、最重要課題と位置付けていきたいと思ひます。

昨年度、県教組としても組織拡大強化を掲げ、3か年計画を策定し、様々な取り組みをしてきましたが、一方で、その困難さも浮き彫りになりました。そんな中において、20名以上の組合員を増やしたのが、ここ、上伊那支部でした。正規教職員の全体数が減少となっている中での組合員の大幅増でした。

本年度も、先生方に各職場内での声がけをいただきました。しかしながら、6日現在で上伊那の組合加入者数は860名、昨年度の同時期と比べましても「28名の減少」という状況です。

正規教職員の減少、先生方の異動や生活の変化など、様々な要因があつてのことと思ひますが、引き続き、加入促進、組織強化に努めていきたいと思ひます。職場内での声がけ、「人と人のつながり」これこそが上伊那の伝統であり、力です。先生方のご苦勞、ご尽力には大変感謝しており、その中でのお願いで大変恐縮ではありますが、今一度、各職場での組合加入の声がけをしていただき、各職場でプラス一人を目標に組合加入をはたらきかけてくださいますよう、ご尽力を賜りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

私たち執行部は、組合員のみなさんのゆとりと生きがい、そして、上伊那の子どもたちの夢と笑顔のために「全力」で取り組んでいく覚悟です。

上伊那支部に脈々と受け継がれてきた伝統と、組合員の声を大切にした組合活動をみなさんとともに作り上げていきたいと思ひます。1年間、先生方には様々なところで、お力をお借りすることになるかと思ひます。今年1年のご協力をお願ひし、年度当初のあいさつといたします。

長野県教組 上伊那支部 執行委員長 加室 優

議事2 支部書記局構成に関する件

執行部の提案は絶対多数で承認され、執行部の自己紹介の後、大きな拍手で激励していただきました。（構成については次ページに一覧を記載しました。）



議事3 県委員候補決定に関する件

本年度、上伊那支部の県委員の定員は4名ということが確認され、以下の4名が候補者として決定しました。7日から14日まで信任投票による選挙が行われました。選挙結果については次号にて報告させていただきます。

【県委員候補者】

加室 優	執行委員長
保科 公幸	副執行委員長
中山 亮	書記長
清水 学	書記次長



県教組本部より宮田県執行副委員長の挨拶

議事4 各単位組合県代議員選出に関する件

6月に行われる県教組定期大会に、上伊那支部より参加する代議員についての確認がなされました。本年度の上伊那支部の代議員数は29名です。

職場長・評議員合同会報告

評議員会后、職場長・評議員合同会が行われました。そこで、県大会代議員および単組役員選挙、単組登録の説明が行われ、単組ごとに集まり今後の日程を確認しました。

新任者歓迎会のお知らせ

新任職員と組合新規加入者の歓迎会を開催いたします。おいしいケーキと温かい飲み物を用意して、多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 4月21日（金） 18：00～
（17：50～ 共済組合説明）

会場 上伊那教育会館 講堂

退職組合員感謝慰労の会のお知らせ

平成28年度末をもってご退職された上伊那支部組合員の在職中のご功績に感謝し、ご苦勞をねぎらう会を開催いたします。

多数の組合員の参加と協力をお願いします。

日時 4月28日（金） 17：30～

会場 上伊那教育会館 大会議室

平成 29 年度 支部書記局構成

執行委員長 加室 優 (南箕輪小)
 副執行委員長 保科 公幸 (東 中)
 書記長 中山 亮 (伊那養護)
 書記次長 清水 学 (西箕輪小)



部 名	部 長	副 部 長
組 織 部	小田切直也 (宮 田 中)	牛山 雄斗 (辰 野 中)
法 制 部	原 猛 (赤穂東小)	前嶋 和彦 (東 部 中)
教 財 部	橋爪 祐一 (箕 輪 中)	前嶋 和彦 (東 部 中)
教 文 部	河野 寛樹 (赤 穂 小)	堀内 翼 (春 富 中)
賃 対 部	江口 貴昭 (七久保小)	堀内 翼 (春 富 中)
社 対 部	高木 政志 (伊 那 小)	小坂美智男 (高 遠 中)
情 宣 部	春日 俊宏 (赤 穂 中)	小坂美智男 (高 遠 中)
会計監査	森田 正之 (東伊那小)	下郷 貴広 (中川東小)
常任書記	唐木 妙子	久保村 祥太

☆担当専門部

女性部	高木 ・ 小坂	清風の会	原 ・ 前嶋
青年部	原 ・ 前嶋	栄養教職員の会	小田切 ・ 牛山
養護教員部	河野 ・ 堀内	学校図書館司書の会	小田切 ・ 牛山
事務職員部	江口 ・ 堀内	退職教職員の会	原 ・ 前嶋
障害児教育部	橋爪 ・ 前嶋		

く み 組 っ て る 上 伊 那 !

上伊那支部は例年高い組織率を保ち、子どもたちのため、私たちの生活を守るために活動しています。今後も力強く運動をすすめるためには、一人でも多くの先生方のお力が必要です。組合加入を希望される方は、職場長さんにご相談ください。さらに多くの先生方の加入をお待ちしています。

※各職場で、産・育休中の先生方や未加入の先生方への声かけを引き続きお願いいたします。